

# 【クリハラリス生息状況調査及び捕獲の結果】

## 背景・経過

令和4年1月、栃木県真岡市において本県では初めて野外で特定外来生物であるクリハラリス（以下「リス」）が確認されました。これを受けて県では、同年3月に緊急的に捕獲を実施し、8頭の捕獲がありました。

令和4年度は、真岡市内で生息状況調査及び捕獲を実施しましたが、リスの生息の確認や捕獲はありませんでした。この結果、生息密度は低いと考えられましたが、令和5年度も引き続き生息状況調査及び捕獲を実施したところ、2頭の捕獲がありました。

## 令和5年度事業内容

【生息状況調査】12月～2月

○方法

1：ベイト法（誘引物を設置し、自動撮影カメラにより生息を確認する方法）

実施地点数：16地点（自動撮影カメラ設置台数：24台）

2：プレイバック法（リスの繁殖音や警戒音等の音声を流し反応を確認する方法）及び目視

○結果

2地点で生息を確認

【捕獲】1月～2月

○方法

箱ワナ（計10基）により4地点で捕獲を実施

（生息状況調査により生息が確認された2地点及び令和3年度にリスを捕獲した2地点）

○結果

調査により生息を確認した2地点で2頭捕獲（1頭/地点×2頭）



捕獲があった2地点において、捕獲後も生息状況調査を実施しましたが、リスの生息は確認できませんでした。このことから、調査により確認された個体は捕獲されたと考えています。

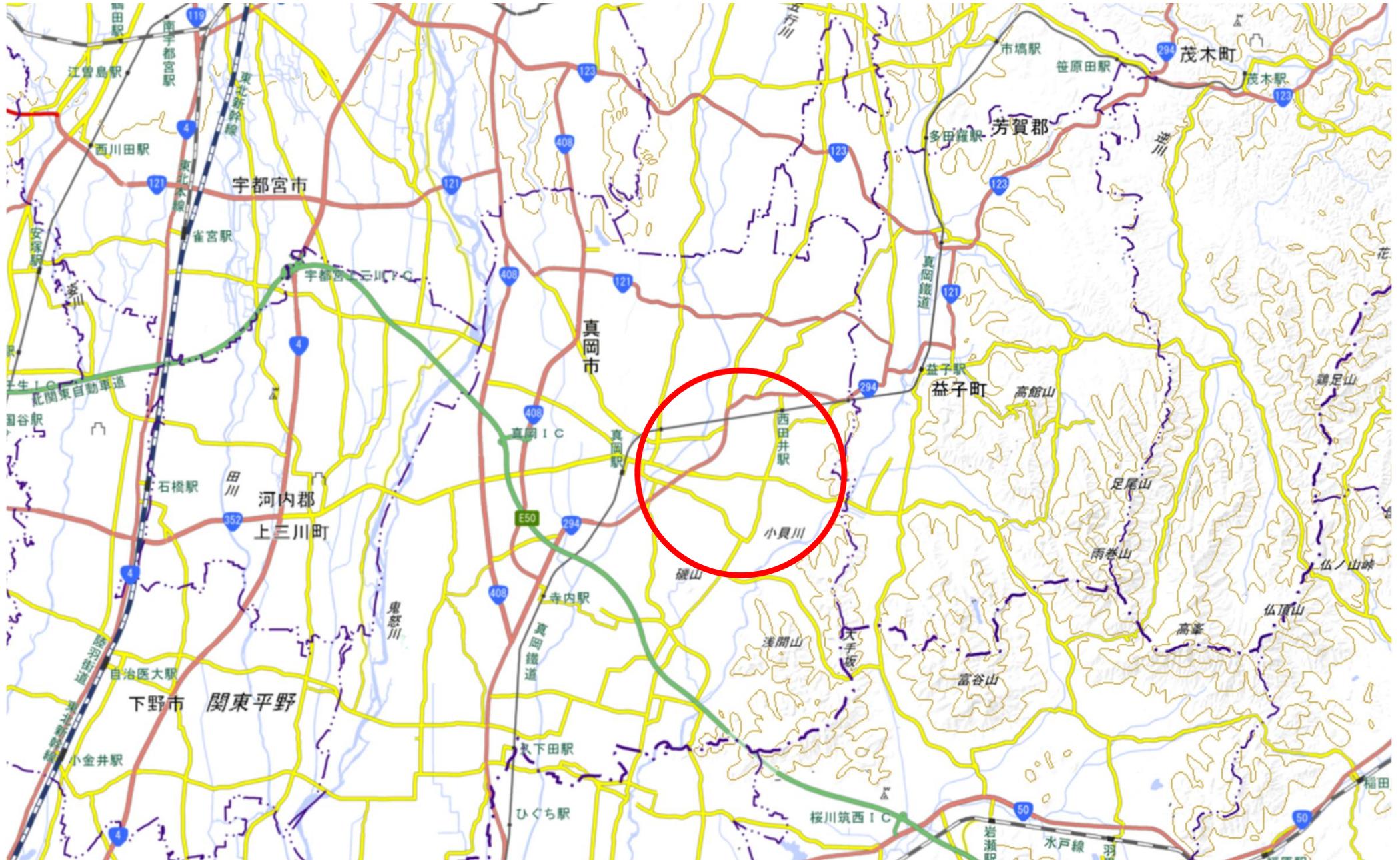
## 課題と今後の展望

令和5年度に実施した生息状況調査では、16地点のうち2地点で生息を確認しました。また、生息を確認した2地点のうち1地点は、令和4年1月の生息確認場所から約3km離れた地点でした。

令和5年度の調査で、出没を確認したのは2地点のみであり、その2地点とも同時に複数個体は確認できなかったこと、また捕獲後に生息が確認できなかったことから、真岡市におけるリスの生息数は少ないと考えられます。

しかし、リスが定着し個体数が増加した場合には、真岡市及び本県の生態系、生活、農林業等への被害発生が予想されることから、リスの定着を阻止するため、来年度以降も継続して生息状況調査及び捕獲を実施する予定です。

捕獲等実施範囲（R3年度～R5年度）



範囲（赤線）内で、令和4年3月に8頭、令和6年1月から2月にかけて2頭のクリハラリスの捕獲がありました。